令和6年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

駒留地区

地すべり対策事業

よくわかる公共事業

事業継続中

電子データはこちら▶

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくります

地元の声

・近年、全国で毎年のように土砂災害のニュースを見て不安です。（地元住民）
・もし地すべりが発生したら県道の寸断による孤立が不安です。早く対策を。（地元住民）

事業前

◆ 平成19年の台風による豪雨により地すべが発生し、市道の擁壁などに被害が出ました。

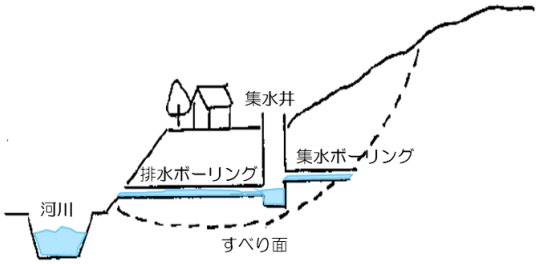
市道擁壁のクラック

斜面頭部の滑落崖

事業前の状況

事業後

◆ 集水井を整備し地下水を排水することで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。

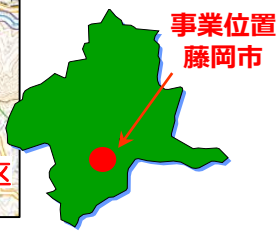


事業後のイメージ（一例）

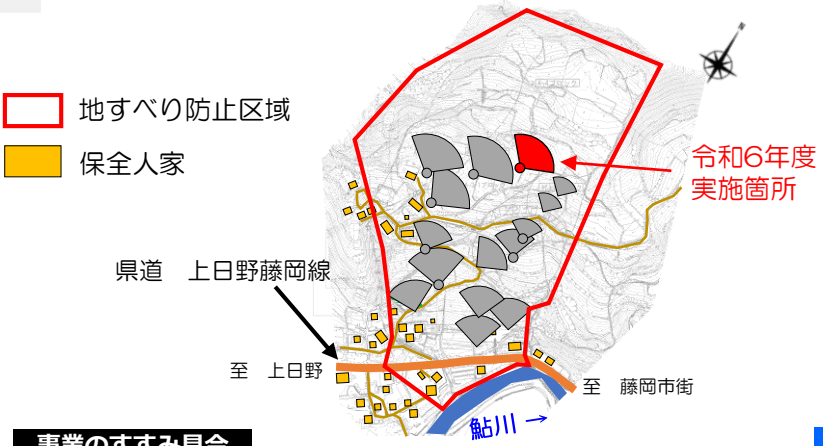
事業の概要

■ 事業箇所：藤岡市下日野
■ 事業内容：集水井工　９基、横ボーリング工
■ 事業期間：平成26年度～

※集水井（しゅうすいせい）とは、地すべりの原因となる地下水を、井戸を掘って効率的に集水し、安全に排水するものです。



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和６年度も、引き続き地すべりの観測と集水井の工事を実施します。

R5実施箇所の集水井

事業のすすみ具合

事業開始 ●――――――――――――――――●・・・● 事業完了